

違反だと・・・分かってやってる、『飲酒運転』 「飲酒運転は、事故でなく犯罪」

代行運転手なのに、飲酒運転容疑 事故を起こして発覚 基準の約8倍のアルコールが検出された

2018/8/25(土) 9:45

24日午後9時40分ごろ、代行運転手の男性容疑者(53)を道路交通法違反(酒気帯び運転)の容疑で現行犯逮捕した。酒を飲んだ客に代わって客の車を運転する代行運転の業務中に自損事故を起こし、発覚した。客2人を後部座席に乘せて運転中に住宅の壁に車体をこする事故を起こし、駆けつけた警察官が酒の臭いに気付いた。検査したところ、基準の約8倍の1・22ミリグラムのアルコールが検出されたという。けが人はいなかった。警察は代行業者にも事情を聴き、安全管理に問題がなかったか調べるという。

酒気帯び運転 追突、玉突き事故、容疑で大学生逮捕 友人宅で飲酒、仮眠後運転

2018.8.25 18:47

警察は25日、道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで、大学3年の男子学生の容疑者(20)を現行犯逮捕した。容疑者の乗用車は前方の車に追突し、計4台が絡む玉突き事故を起こした。「午前3～7時に友人宅で500ミリリットルの缶ビールを3本飲み、仮眠後に運転した」と供述しているという。

町職員 飲酒運転で自転車と衝突事故 停職処分、退職願

2018.8.24 11:40

高知県某町の税務課長(58)が飲酒運転で事故を起こしたとして、停職12カ月の懲戒処分とされたことが24日、同町への取材で分かった。処分は23日付。課長は、退職願を出し23日付で受理された。課長は18日夜に友人宅でハイボール4、5杯を飲んで帰宅。19日未明にさらに飲酒した。同日昼ごろに車で外出し、自転車の男性と衝突。足の打撲などの軽傷を負わせた。警察官から呼気検査を受け基準値以上のアルコールが検出されたという。

11時間で3軒はしご後、飲酒運転、課長補佐停職

【2018年08月23日 21時46分】

滋賀県の教育委員会は23日、飲酒して車を運転したとして、男性課長補佐(49)を停職6カ月の懲戒処分とした。副主幹への降任も併せて行った。教委によると、課長補佐は4月13日午後7時から11時間かけて、飲食店とスナック計3軒を回った後、飲食店に駐車していたマイカーを運転。14日午前6時40分ごろ、約4・5キロ離れた交差点で、停車中の運転席で眠っているところを、通報で駆けつけた署員に見つかった。道交法違反の罪で略式起訴され、簡裁が8月14日、罰金50万円の略式命令を出した。

酒気帯び 交差点で出会い頭に衝突 容疑で52歳男を逮捕

2018/8/22(水) 22:57

警察は22日、自動車運転処罰法違反(過失傷害)と道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで、自営業の男(52)を現行犯逮捕した。逮捕容疑は同日午前8時10分ごろ、埼玉県の市道で、酒気を帯びて乗用車を運転。交差点で男性(83)が運転する軽トラックと出会い頭に衝突し、男性の左前額部に3日間のけがを負わせた疑い。